

GERO CITY assembly

各委員会の 委員・活動方針

監査委員

議会選出

中島 博隆

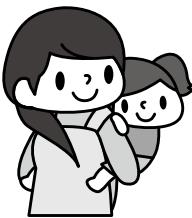
議会運営委員会

定数 7人

委員長	中野 憲太郎
副委員長	田中 副武
委員	宮川 茂治
副委員長	今井 政嘉
委員	中島 新吾
副委員長	中野 憲太郎
委員	伊藤 嶽悟
副委員長	田中 副武
委員	中島 達也
副委員長	吉則 吉則
委員	一木 良一
副委員長	伊藤 嶽悟
委員	中島 博隆
副委員長	中島 達也
委員	中島 達也
副委員長	中島 達也

飛騨農業共済議員

議員
今井 今井
政良 政嘉
良嘉



活動方針

定例会で付託された議案を慎重審議すると共に下呂市の課題である少子高齢化、人口減少問題に対して、効果的な対策が求められています。そのためには、結婚から育児、教育、福祉、医療などの環境整備の充実を図る必要があります。子育て支援や移住定住促進、空き家対策、誰もが介護できる環境づくりなど、市民が安心して暮らせるまちづくりのために、市内の現状を把握し、先進地の成功事例を調査研究していきます。

総務常任委員会

委員長	田中 副武
副委員長	中島 ゆき子
委員	今井 政嘉
副委員長	中島 新吾
委員	中野 憲太郎
副委員長	伊藤 嶽悟
委員	田中 副武
副委員長	吉則 吉則
委員	一木 良一
副委員長	中島 博隆
委員	中島 達也
副委員長	中島 達也
委員	中島 達也
副委員長	中島 達也

活動方針

下呂市における産業経済振興策を調査研究します。観光商工では、エコツーリズムによる地域振興について研究します。建設、農林、社会生活を行つたための土台となるインフラ整備、災害に強い基盤整備や森林及び里山整備、木材の利用促進など調査研究を行います。環境関係については、本年度の大規模事業である一般廃棄物最終処分場整備などの進捗状況を確認します。また、下呂土木事務所、下呂農林事務所と意見交換を行うなど連携します。管内、管外の視察、調査研究を行い政策立案を進めます。

産業常任委員会

委員長	田中 副武
副委員長	中島 ゆき子
委員	今井 政嘉
副委員長	中島 新吾
委員	中野 憲太郎
副委員長	伊藤 嶽悟
委員	田中 副武
副委員長	吉則 吉則
委員	一木 良一
副委員長	中島 博隆
委員	中島 達也
副委員長	中島 達也
委員	中島 達也
副委員長	中島 達也

活動方針

決算認定をするうえでは、継続・新規事業予算に対し、計画どおり事業が実施されたかや、その事業がどのような効果を生み出し、市民および各種団体などの事業に生かされているかなどについて確

定数 13人

執行部から提出された予算について、将来を見据えた財政運営が可能なものとなっているか、市の諸課題解決のためのものか、そして、市民の立場に立った公平なものになっているか審査します。補正予算では、財源確保や当初予算の内容がどのように変更されたのか、慎重に審査します。

予算特別委員会

委員長	田中 副武
副委員長	中島 ゆき子
委員	議長を除く全員
副委員長	中島 ゆき子
委員	田中 副武
副委員長	中島 ゆき子
委員	議長を除く全員
副委員長	中島 ゆき子
委員	田中 副武
副委員長	中島 ゆき子
委員	議長を除く全員
副委員長	中島 ゆき子
委員	田中 副武
副委員長	中島 ゆき子
委員	議長を除く全員

認めます。その他、長期的な視野に立って、収支の均衡がとれた計画的財政運営であったか。市民生活のために執行された予算が最小の経費で最大の効果を上げているか。各視点から財政運営について、総合的に検証します。決算認定は、今後の予算編成や財政運営に生かすために行つもので、持続可能な下呂市となるよう、慎重審議します。

ています。旧下呂温泉病院跡地については、引き続き活用について検討を行います。各事業とも進捗状況をしつかり把握して、市民の皆さまの声を反映させ、慎重に審議を進めます。

濃飛横断道・リニア特別委員会

旧下呂温泉病院跡地等活用検討特別委員会

活動方針		定数	13人
委員長	伊藤 嚴悟	副委員長	吾郷 孝枝
委員	議長を除く全員		

活動方針		定数	7人
委員長	一木 良一	副委員長	今井 政良
委員	田中 各務	田中 副武	吉則 中島
田中 博隆	吉則 中島	吉則 中島	達也

活動方針		定数	5人
委員長	中島 新吾	副委員長	尾里 集務
委員	田中 副武	田中 副武	中島 ゆき子
田中 博隆	吉則 中島	吉則 中島	達也

活動方針		定数	5人
委員長	中島 ゆき子	副委員長	尾里 集務
委員	田中 副武	田中 副武	中島 ゆき子
田中 博隆	吉則 中島	吉則 中島	達也

し、三市一村が一丸となって、さらに強力に活動していきます。

委員会は市民の皆さまに信頼され、身近で開かれた存在になるための議会改革に取り組みます。今年度は、「市民と議会との意見交換会」に多くの市民に参加していただきけるよう、会場を10カ所としただけのよう、会場を10カ所としました。また、市民の声を市政に反映させるための対応をさらに進められたため、開催時期を早めて7月としました。この取り組みを通して、議員間での話し合いが重ねられるよう改革を進めます。

- ①「下呂市議会だより」を定期例会の開催に合わせ、8月・11月・2月・5月に発行し、下呂市内の全世界に配布します。
- ②閉会中に開催された各委員会の審議内容や、視察結果報告など、掲載します。
- ③「下呂市議会だより」の掲載内容は、より見やすい紙面となるよう検討していきます。

昨年から下呂庁舎の耐震改築工事が進められ、9月末に完成の予定です。地域再生計画においては、温泉街の市有地活用の基本計画に基づいて、市民の皆さまの意見をいただきながら詳細設計が行われることになります。幸田地内の無電柱化事業は、詳細設計に基づき、電柱の支障移転が予定されています。市道森8号線の道路改良については、用地買収を行うこととし

濃飛横断自動車道は、中津川・下呂・郡上の約80km区間を短時間で結ぶ計画道路です。沿線の下呂市、中津川市、郡上市、東白川村で協力、連携して一日も早い事業着手を願い、国・県関係機関に対し、要望活動を続けていきます。リニア中央新幹線の開業が9年後になると、濃飛横断道は、沿線の自治体なりびに住民にさまざまな影響と効果を与えてくれる必要な道路であることを改めて認識